AN AMERICAN CLASSIC

ZIPPO

ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE

VOL.10

ジッポー・ホットニュース・スペシャル2003春夏号

SPRING/SUMMER



ローズアート探訪

ZIP-TALK 冨迫博之

●2002ジッポー・ライター新製品ガイド●ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズ●ジッポー物語●ZIPPO ZOOM UP

リトルトンからブラドフォードへ。

通りの奥に建つ、煉瓦づくりの時計塔。ケネディ・ストリートとボイルストン・ストリートの角にある、ブラドフォード市役所である。ここペンシルバニア州の北西マッキーン・カウンティに含まれる、人口一万人に満たない町に市制がしかれたのは、一八七九年。折からの石油産出ブームによる「オイル・ダラー」で活況を呈した時代。この伝統的建物は、石油事業で成功したウィリアム・ハンレイが一八九八年に建立。その後、一九〇一年に火事で焼失の憂き目に遭っているが、すぐに再建。しかし、時代の風に老朽化がすすみ、修復工事が重ねられている。

ブラドフォードに最初の開拓者が移住してきたのは、一八二七年とされる。命を受けた大佐が土地開発を開始したのが一八三七年。はじめて開拓者の子どもが誕生したのは一八二七年。はじめての結婚式が挙げられたのは一八二八年。その後、一八五〇年、アメリカ土地会社のダニエル・キングスバリーに五〇、〇〇〇エーカーを売却したときから、本格的な町づくりがはじまっている。

CONTENTS

［ブラドフォード点描⑩］シティ・ホール — 2
ローズアート探訪 — 4
ZIPPO社創業70周年記念 本社招待ツアー — 7
［ZIP-TALK⑨］宮迫 博之　聞き手／岡本亜紀子 — 8
「友人への贈り物はいつも、誕生年ジッポー」
2002ジッポー・ライター新製品ガイド
WORLD MODELS — 10
CANADA ZIPPO FINAL
［頑小物⑨］携帯用灰皿の話
JAPAN MODELS — 12
ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2003 — 14
ジッポー物語　第三章／生涯保証とPR作戦　かとうともゆき — 18
It's a Zippo Story.　ジッポー・ストーリー傑作選① — 21
ZIPPO ZOOM UP — 22
コレクター登場
ZIPPO SHOP TOUR
FROM ZIPPO — 24

●表紙／ジッポー・アウトドア・ファッションズのアイテムたち

土地開発に尽力したのは、リトル大佐。その名にちなみ「リトルトン」と呼ばれた町名は、一八五四年の氏の逝去とともに変わり、植民政策の指導者ブラドフォード提督の名を取り、「ブラドフォード」が新市名になったとつたえられている。

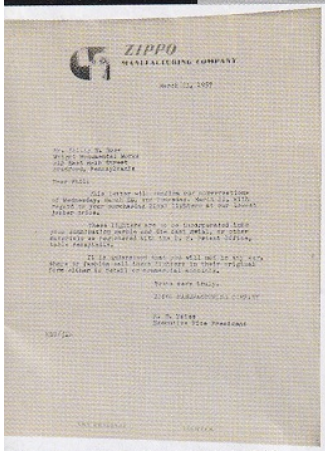
同名の町はアメリカでは数多くあるので、「Bradford, PA」と州名を付けなければ、ジッポー社のあるブラドフォードにはならない。

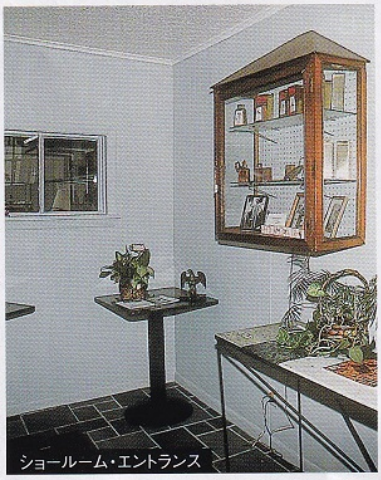
Roseart
GIFTS OF LIFETIME ELEGANCE

懐かしきテーブル・ライターは、いまここに――。
ローズアート探訪

独自の芸術的感性と品質の高さで、テーブル・ライターの新分野を切り拓いた「ローズアート」。大理石や木の美しさは、ジッポー・ライターによってのみ、その輝きを存分に発揮する。ジッポーと哲学を同じくするように掲げられた「GIFTS of LIFETIME ELEGANCE」。絵画用パレットをイメージさせるロゴにはこう記されている。今回は、二〇〇二年四月にふたたび動きだした「ローズアート」の歴史に迫った。


ローズアート・ショールーム


ZIPPO MANUFACTURING COMPANY
ジッポー社から送られてきた手紙。
ローズアートとの協定を了承した内容。


ショールーム・エントランス



ショールーム内


エアブラシで描かれた、
ラルフ氏とジュディスさんのツーショット・モデル

「ローズアート」は今年、創業四十五周年。

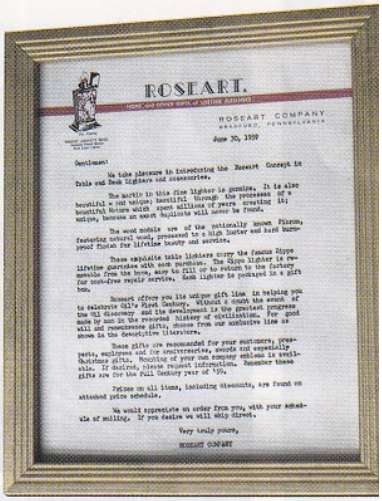
ローズアート社の設立は、一九五七年。創業者であるフィリップ・M・ローズは、ブラドフォードに生まれた。もともと彼は、自らが記念碑の職人として働く「ライト・モニュメンタル・ワークス」社を興していたが、同郷ですでに本物としての地位を確立していたジッポー・ライターに、大理石の優雅さと木の美しさを融合させることはできないかと考えていた。それらを、ジッポー・ライターにふさわしい、まさに芸術品として仕上げること。ローズアート社がめざしたのは、まさにこの一点だった。そして、その想いはテーブル・ライターにとどまらず、のちにつくられたアクセサリー類にもおよぶ。年輩の方々はご記憶だと思うが、テーブル・ライター、灰皿、タバコ・ケースの豪華なセットは、ローズアートが先駆けのひとつなのだ。

ローズアートは六十年代、七十年代に最盛期を迎えるが、フィリップが逝去した一九九五年、一時的に閉鎖された。そして二〇〇二年四月二十日、彼の息子のラルフ・A・ローズとその妻・ジュディス、孫娘のケリーとその夫・マークが、ふたたび再開することになる。ラルフ氏いわく「今日、オリジナルのローズアート・セットを見つけだすことは非常に困難



創業当時につくられた新商品用の広告


歴史的名品が並ぶショーケース

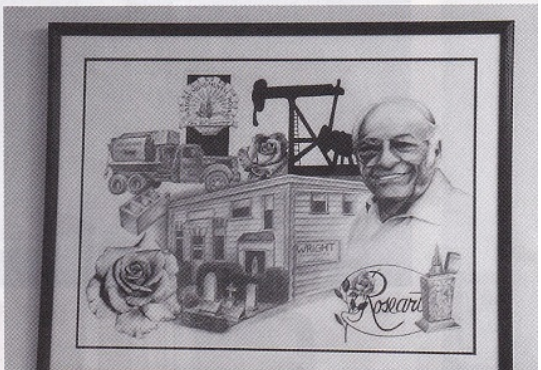


設立当初、商品に同封していたお礼状


創業者フィリップ・M・ローズと、現社長のラルフ氏



"Special"——ファースト・ハンド・ペイント・オーバル



創業者を偲んで描かれたイラス



ファースト・サンプル。ボトムには「with genuine ZIPPO, ROSEART」

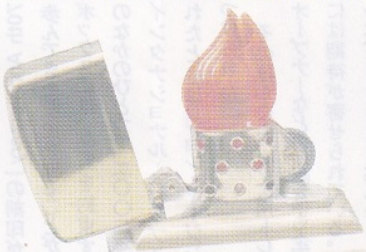

ラルフ氏、妻のジュディスさんと娘のケリーさんと

転機を迎えた、ジッポー社との提携

いまでこそ、独自の分野を確立しているローズアートも、設立当初から順風というわけではなかった。ジッポーを収めるための穴が大理石にうまく開けられず、膨大な量の不良品を抱えこむことになる。しかし一九五九年までに、これらの問題をすべて解決させることに成功。その芸術性と品質の高さが、その後交友を深めていくことになるジョージ・G・ブレイズデルに認められ、ジッポー社と特別提携を結ぶことになる。ジッポー社のライセンス商品第一号である。エンブレムやサイン、イニシャルなどのオリジナル商品もお客に受け、シカゴやニューヨークをはじめとする大都市の大型デパートで飛ぶように売れた。テーブル・ライターと同じ材料を使ったシガレット・ボックスや灰皿とのセット販売も行なっている点などは、クリエイティブ能力だけでなく、商売への才覚もうかがわせる。

より高い品質を求めたフィリップ・M・ローズは、フランス、イタリア、ノルウェー、そして聖地からも大理石を輸入した。「バーモント・ヴェルデ」モデル専用に、特別にニューイングランド州からも買いつけている。材木は、クルミ材や桜の木、マホガニーなどすべて天然木を使用。アートローズのスローガンにもなっている「GIFTS of LIFETIME ELEGANCE」(生涯、優雅さを誇る贈り物)は、こうしたこだわりから生まれているのだ。

がができたときは、人生の宝物を探しあてたことと同じ意味を持つでしょう」。



Roseart Company
PO Box 526, 12 Lincoln Avenue
Bradford,PA 16701
Tel (814) 362-3030
Fax (814) 368-303
www.roseartlighters.com





ショールーム内の展示コーナー



ショールーム内



非売品ばかりを陳列したショー・ケース



ローズアート
創業45周年記念モデル



“新生ローズアート”から発売される
『Fibron Forest Tresures』シリーズ



創業者のイニシャルが刻まれたモデル



「ラファイエット」セット

フィリップ・A・ローズは、ネーミングの名人。

創業者である彼は同時に、ネーミングの名人でもあった。フランスから輸入したピンク色の大理石を使ったライターには、フランス人によくある名前の「ラファイエット」を使用。「ブラック・ナイト」も同様に、黒と白のまだら模様のフランス製大理石の名前をそのまま使った。また、イタリアの大理石モデルには「フランシスカン」（フランシスコ修道士）と命名。深みのある赤色が印象的なライターだ。「ガリレー」（礼拝堂）ライターは、聖地のナザレから輸入したゴールデン・ベージュ色の大理石。ニューイングランド州の緑色の大理石は「バーモント・ヴェルデ」ライターに使われている。すべて天然木からつくられた「ローズアート・フォレスト・トレジャーズ」は、磨きあげられた光沢があり、防燃仕様も施されている。

また、なかに入っているジッポーは、ほとんどがハイポリッシュやサテン・フィニッシュのものであるが、なかには真ちゅうやクローム合金、金メッキのものもある。いずれも、そのローズアートがいちばん映えるようこだわって選ばれている。

創業四十五周年を記念するコメモラティブ・モデル。

ローズアートは事業再開にあたり、新しいテーブル・ライターだけでなく、オリジナル・ライターを目録どおりに再商品化し、リンカーン・アベニューに面したショールームに展示している。

なかでも目玉となったのは、限定十個限りの「ローズアート創業四十五周年記念モデル」。一九五八年製のオリジナル・ブラック・ナイトのライターをベースに、本体の前面には「Roseart Company 45 years」、背面には「Salutes Zippo's 70th Anniversary」の刻印が施してあり、ジッポー社とともに歩んできた歴史を知ることができる。ローズアート・オリジナル・ボックスには、品質を約束する保証書も収められている。そのなかのひとつが、二〇〇二年に開催された「ジッポー／ケース・インタナショナル・スワップミート」のオークションに出品されたときは、ジョン・ヤージンによって、〇〇〇ドルの高値がつけられた。

そのほかにも、紳士用トレーやコースター、三脚台、レター・オープナーなどの新商品も企画されており、“新生ローズアート”には期待が寄せられている。さらにくわしい商品が見たいファンは、www.roseartlighters.comをチェックしていただきたい。

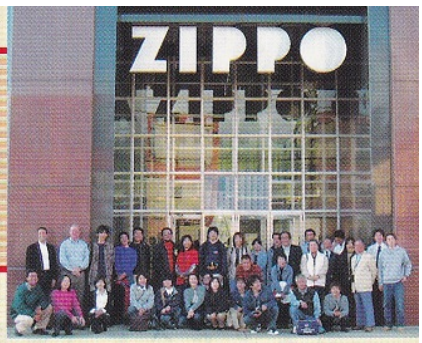


参加者に贈られた
「工場見学記念ジッポー」

ZIPPO社創業70周年記念 本社招待ツアー

参加者たちのリポートより

2002 9/20~9/25



ジッポー本社前にて

昨年、ジッポー社創業七十周年を記念して行なわれた、「アメリカ・ツアー四泊六日」プレゼント・キャンペーン。応募総数一五、〇〇〇通のなかから幸運な三十名がブラドフォード、ナイアガラへの旅を手に入れた。ジッポー本社・工場、ビジターズ・センター、ペン・プラド博物館、そしてジッポー・カナダ……彼らはジッポーの故郷の地を踏み、そこでジッポーに何を感じたのだろうか。

世界中の人に愛されるジッポー社

岩田 真

わたしはタバコを吸わないが、ジッポーのことは当然知っています。いつの頃から知っているかは定かではないのですが、小さい頃からジッポーのことは知っていました。デパートに行けば、アクセサリー売り場にジッポーがあり、骨董屋をのぞけば古めかしいジッポーが売っていて、海外旅行をすれば土地土地のジッポーに出会うことができる。まさに世界中の人々に愛され、アメリカの代名詞と言えるようなライターなのだなと感じています。一度も所有したことはないのですが、思い返してみると、記憶のさまざまなところにジッポーがいるものです。

そのジッポーの本社と工場、ビジターズ・センターを見学できることになり、とても興奮していました。アメリカを代表するようなかっこいい本社ビル、近代的でフルオートメーション化された工場を見学できるのだろうと勝手に想像をふくらませていました。

ところが、飛行機を乗り継ぎ、バスに揺られて着いた場所は、わたしの想像をまったくもって裏切る場所でした。アメリカの片田舎（？）と言っていいのかわかりませんが、十分も歩けば端から端まで行けてしまうような静かな町に本社と工場はありました。どこから見てもジッポーの本社であるとわかるような、大きなジッポー・ライターの看板がかかっている本社はかっこいいとはニュアンスが多少違い、機械音が鳴り響く油くさい工場も、私が想像していた近代的な工場とは少し異なっていました。ここでアメリカの代名詞のジッポー・ライターが生産されているとは、最初は正直信じられませんでした。しかし、見学させてもらうと、私の心配は消えてなくなりました。ドカドカと乗り込んできた日本人をニコニコと迎え入れてくれた重役の方々、真剣に手作業でライターをデザインしているデザイナーの方々、できあがったライターを一つひとつ丹念に磨いていた工場の方々、このような人たちがいればこそのジッポーなのだと感じました。世界中の人に愛される『ライター』は、やはり世界中の人に愛される『人』によってつくられているのだとわかりました。かっこいいビルと近代的な工場は、あの『人』たちの働きに比べれば、あまり意味のないものだなと感じました。なにはともあれ、とても楽しい見学でした。

見学のあとは、ビジターズ・センターで買い物をしました。興奮冷めやらぬなかでの買い物だったので、ついついニつもライターを買い込んでしまいました。タバコを吸わないわたしには、いったいどういう使い道があるのでしょう？　しばらく思案しようと思います。

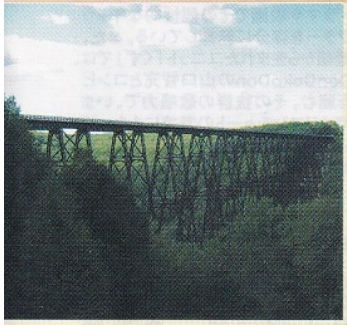
（寄稿）



ビジターズ・センター前にて
（後ろはジッポー・カー）



ジッポー本社ロビーにて



高い位置にあるこの橋に驚きの声。
高架鉄道橋「キンツァ・ブリッジ」



参加者たちが興味津々。
ジッポーのデザイン部門「Zippo Art」

参加者アンケートに綴られた喜びの声

●とても貴重な体験でした。いままでは、ただのコレクターでしたが、今回のツアーでジッポー・マニアになった気がします。（高橋航也）

●おみやげにジッポーのライターや時計を配ったのですが、六十ドルの時計を三十万で売ってほしいなどと、ジッポー・マニアが意外に多いことに驚きました。（竹内由美子）

●デザイン部門から工場まで、それぞれの部署で自信を持ち、楽しそうに働いている姿がうらやましかった。（長谷川陽子）

●ツアーに行く前は堅いイメージがありましたが、実際に見学してみるとアットホームで、家族を迎えるような温かみを感じました。（戸羽宏明）

●こんな田舎町から、全世界へジッポーを発信しているとは思いませんでした。歴史の深さ、ライターへの愛情が伝わってきました。（田村慈教）

●ブラドフォードは落ち着きのある、のどかな感じのかわいい街でした。タバコは喫いませんが、ジッポー・コレクターになりそうです。（佐々木礼子）

●企業の口ゴやアニメなど、いろいろなデザインが考えられていることを知りました。ジッポー社は、夢のある会社ですね。（北村忍）

●夫婦そろってジッポー社が見学できて、最高でした。これからもジッポーの文字を見るたびに、ツアーのことを思いだすでしょう。（富山みや子）

●楽しそうに働いている社員の方が印象的でした。このツアーで、ジッポーがますます好きになりました。（松本喜久枝）

ZIP-TALK 9

宮迫 博之

友人への贈り物はいつも、誕生年ジッポー。

ジップ・トーク⑨

宮迫 博之（コメディアン・俳優）

聞き手／岡本亜紀子（岡本トレーディング・ジッポー担当）





宮迫博之／コメディアン・俳優。吉本興業の吉本総合芸能学院（NSC）7期生として、平成元年、蛍原徹と「雨上がり決死隊」を結成。ABCお笑い新人グランプリ・優秀新人賞や上方漫才大賞・新人奨励賞などを受賞し、実力派コメディアンとしての地位を確立する。近年では、ソロ活動も多く、ドラマや映画でその個性的なキャラクターを存分に発揮している。また、番組から生まれたユニット「くず」では、DonDokoDonの山口智充とコンビを組む。その抜群の歌唱力で、いまやオリコンチャートの常連にもなっている。これからもその活躍から目が離せない存在。

「宮迫です！」。愛くるしい笑顔と独特のポーズで、一躍お茶の間の人気者になった宮迫博之。いまや、その活躍の舞台はお笑いにとどまらず、ドラマ、映画、歌へと広がっている。一方、友人の誕生日には、その人の誕生年につくられたジッポーを贈るという、ジッポー伝道者ともいうべき一面も見せる。いつも「いまを生きる」ジッポー・マニアが、いまも生きつづけるジッポーについて熱く語った。

誕生年ジッポーへのこだわり

岡本　最近テレビで、「夜中に、よくジッポーを眺めている」とおっしゃっているのを見たのですが、はじめてジッポーを買われたのはいつですか？

宮迫　十八歳のとき、十五年ぐらい前に自分のお金で買いました。

岡本　買おうと思ったきっかけはなんですか？

宮迫　ジーンズにジッポーをこすりつけて火を点けるシーンを映画で見て、かっこええなぁと思ったんです。

岡本　どんなタイプのジッポーがお気に入りですか？

宮迫　いまはヴィンテージ・ジッポーばっかり使ってますね。

岡本　自分の誕生年のジッポーを持っていらっしゃるとお聞きしたのですが。

宮迫　（ロケットが描かれたジッポーを持って）これですね。一九七〇年製のジッポーってあんまりなくて、探しまわってようやく見つけました。

岡本　誕生年のジッポーにこだわりがあるんですね。

宮迫　そうですね。男の人の誕生日には、絶対その人の誕生年のジッポーをプレゼントしています。

岡本　それは喜ばれる贈り物ですね。

宮迫　この間も、ダウンタウンの松本さんの誕生日に、誕生年のジッポーをあげようと思って、いろいろ探しましたね。ほかにも、陣内さんやTOKIOのリーダーの城島くんにもあげました。次の週には「なくなっちゃいました」って言ってましたけど。小池栄子ちゃんの誕生日には、コレクションから好きなジッポーをあげました。

岡本　ずいぶん気前がいいですね。大切なジッポーはしまっておくと思うんですが。

宮迫　自慢もしたかったんですよ。「アホや、こっちのほうがすごいのに」みたいな。みんな気づかないんですよ。でも、たまに気づいてもらえると「あっ、知ってるの？」って話が弾んだりしますね。

岡本　コレクションには、そういう楽しみ方もあるんですね（笑）。



ヴィンテージ・ジッポーがそろうコレクション（誕生年ジッポーは右下）

俳優志望だったコメディアン

岡本　最近は、コメディアンとしてだけでなく、俳優や歌手としてもご活躍ですね。

宮迫　もともと俳優になろうと思って芸能界に入ったんですよ。でもいかんせん、そこは吉本





ですから、望んでいるものとは全然ちがう方向に進んでいってしまいましたけどね。

岡本　どうして吉本に入られたんですか？

宮迫　大阪では、芸能界イコール吉本なんですよ。ほかに大きな事務所もないですし。

岡本　いずれは、吉本でも俳優ができればいいなという想いはあったわけですね。

宮迫　当時、さんまさんがドラマとかに出られてましたから、こっち（お笑い）からでも俳優の道へ行けるっていう夢はありました。

岡本　じゃあ、夢が叶ったんですね。

宮迫　そうですね。でもいまは、お笑いで勝利したいという気持ちのほうが大きいですね。

岡本　お忙しいから、お休みもあまりないんですよね。

宮迫　休みはたまにしかありませんが、仕事が好きなんで。お笑いは、お客さんを笑わせるのも楽しいんですが、現場にいる演者さんに笑わせてもらうこともできる。それがストレス発散にもなります。

岡本　忙しすぎて、ジッポーをゆっくり見てまわることもできないんじゃないですか？

宮迫　ものすごい行きたいんですけどね。でも地方に行ったときは、短い時間でも絶対にジッポーを見るようにしています。この前、地方にある洋服屋さんに、飾り程度ですが、ヴィンテージ・ジッポーが並んでたんですよ。店員がいろいろと説明してくれるんですが、あきらかにぼくのほうが詳しいんですよ。年代とか、修理している箇所とかもわかっちゃう。それを言うと、店員が急に全然しゃべらへんようになってしまいました（笑）。

岡本　マニアらしいエピソードですね（笑）。ジッポーの永久保証はご存じですか？

宮迫　いや、知らないですね。

岡本　機能的な故障であれば、ジッポーはすべて無料で修理しているんです。どうしても直らなければ、それに代わるライターをお渡しします。

宮迫　そうなんですか。でも、ジッポーはあまり修理したくないですね。修理すると、ちがうジッポーになってしまう感じがして。ヴィンテージ・ジッポーでも、デザインはいいのに、インサイド・ユニットがちがったりすると、すごいヘコんでしまいますね。



年上のジッポーへの敬愛

岡本　いま、ジッポーはどれぐらいお持ちですか？

宮迫　一時期、二〇〇個以上ありましたが、いまは七〇個ぐらいですね。ぼくは酒飲みなんでお店に忘れてきたり、後輩にパクられたり。昔はよく、ナイナイの岡村は家にくるたびにだまって持って帰ってましたよ。でもよくよく調べてみると、ミッキーの絵が入っているのとか、コカ・コーラのデザインのとか、十何万もすることがわかって。もう腹立ってきてね（笑）。しかも岡村はすぐになくしてしまうんですよ。

岡本　それは高いですよ、人気もありますから。

宮迫　それで、これはイカンと。高いやつやったらなくさないじゃないかと思って、ヴィンテージ・ジッポーを集めるようになったんです。それ以来、すっかりはまってますね。

岡本　宮迫さんにとって、ヴィンテージ・ジッポーの魅力はなんですか？

宮迫　自分より年上のものって身のまわりにないじゃないですか。自分よりも長くこの世に存在していて、それでもちゃんと使える。すごく尊敬できますね。

岡本　去年七十周年を迎えましたが、形も仕組みも、創業当時とほとんど変わっていませんからね。

宮迫　そこがまたいいんですよ。

岡本　ジッポーのどこが好きですか？

宮迫　開閉音が好きなので、買うときはいつもこの音を重視します。唯一、音が気にならないのは、いまぼくが使っているジッポーですね。音はよくないんですが、どうしてもほしかったモデルなんですよ。現状モデルにいちばん近くて、いちばん古いやつですもんね。ファースト・モデルは一度さわらせてもらいましたが、これは使うもんじゃないなと思いました。

岡本　やはりジッポーは、実用品として使っていただきたいですね。

宮迫　タバコを喫うときも、ふつうのライターで点けるのとでは味がちがう気がするんですよ。みんな、そんなわけないって言うんですけど。

岡本　お手入れもお好きだとか。

宮迫　家でよくやってますね。以前、地方にずっと行っていたときにオイル・ケアを忘れて、ジッポーでタバコが喫えなくなったことがあったんです。そのときは、本当に辛かった。いまでは、大きなオイル缶を鞄に入れて持ち歩くようにしています。

岡本　いつもですか？　すごいですねぇ（笑）。



常にジッポー・オイル缶（大）を持ち歩く宮迫さん

タバコはずっと同じ銘柄なんですか？

宮迫　昔は、ちがう銘柄を喫ってました。でも、行きつけの喫茶店のママさんがキャビンを喫っていて、カートンでまとめ買いをするんですよ。ばれていたんですけど、いつもそれをパクっていて、タダで手に入るならこれに変えたほうがいかなと思って（笑）。それからずっとこれです。

岡本　携帯灰皿と携帯用オイル入れもジッポーですね。

宮迫　この三点は必須アイテムで、毎日持ち歩いています。



ライター、灰皿、オイル入れ。喫煙具関連は、すべて「ZIPPO」

岡本　タバコのポイ捨てなども問題になっていますので、みなさんにも持ってもらいたいですね。タバコは、一日どれぐらい喫われるんですか？

宮迫　ヘビースモーカーなんで三箱は喫いますね。数年前、倒れて入院したときに一週間禁煙させられました。そのときタバコがやめられると思ったんです。でも、どうしてもジッポーが使いたくて、また喫いはじめたんですよ。

岡本　素直にお礼を言っていいんでしょうか（笑）。

宮迫　だから、ぼくが肺ガンで死んだら、ジッポーのせいなんですよ（笑）。

（二〇〇三年一月八日／東京・新宿にて）

Collector's Edition

CANADA ZIPPO FINAL

カナダ工場製造の最終モデル「カナダ・ジッポー・ファイナル」



いまはなきジッポー・カナダ



カナダ・ジッポーについて書かれたミニブック付き。

メープルリーフがスタンプされたベロア・ボックスに収められている。

世界限定二五、〇〇〇個。カナダ・ジッポーを手に入れる、これが最後のチャンス！

二〇〇二年七月三十一日、ジッポー・カナダが五十三年の歴史に幕を閉じた。一九四九年八月の設立以来、ブラドフォード工場をのぞく、唯一の製造拠点として、数々のジッポーを世に送りだしてきた。工場に掲げられたジッポー・ネオン看板も、ナイアガラの名物として多くの人の目を愉しませてきた。

その閉鎖の直前につくられたのが、「カナダ・ジッポー・ファイナル」である。本体は銀メッキ、ブラッシュ・フィニッシュにエングレーブ加工が施されている。もちろん、シリアル・ナンバーが刻印されており、ボトムには「NIAGARA FALLS, ONTARIO」。パッケージ本体は黒のベロア・ボックスで、ふたにはカナダを象徴する鮮やかな赤のメープルリーフがスタンプされている。カナダ工場の外観写真が印刷されたミニブックで、いまはなきカナダ・ジッポーの知識を深めていくのもコレクターの大きな愉しみになるだろう。

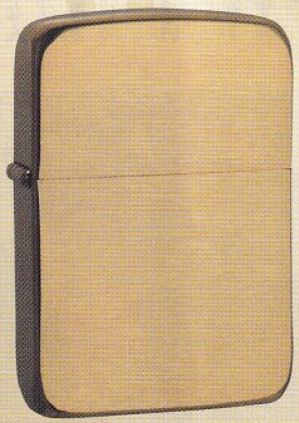


「NIAGARA FALLS, ONTARIO」と刻印されたジッポーは、これが最後。

名品にふれる歓びに、さらなる愉しみを。1941 REPLICA 1941レプリカ

四十年代初期の歴史的名品を完全復刻したラウンド・コーナー・モデル「1941 REPLICA」。四連バレル・ヒンジや七ホールの風防ガードなどが忠実に再現されているだけでなく、ブラスならではの質感の変化までも愉しめるモデルだ。コレクションも多彩になっているので、ジッポー・フリークであるならば、ぜひひとつは手に入れたい。



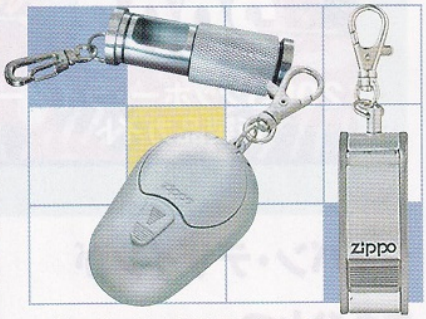

No.1941B
1941 REPLICA BRUSHED BRASS
4,800円



頑小物 No.9

携帯用灰皿の話

文・きとうひろし（Collector/Historian）



ジッポー製の「携帯灰皿」を常用している方はどれぐらいおられるのだろうか？　ジッポー・ブランドの携帯用灰皿はほんの10年ほど前から、日本独自のライセンス生産商品として企画開発が開始され、国内の関連各社が応用と改良の試行錯誤を繰り返しながら、その完成度と種類の豊富さを追求しつづけ、現在では、世界屈指の商品群を備えたマーケットにまで成長している。発売当社は2,000円前後という価格帯にいささか尻込みをしていたジッポー・ユーザーも多かったと思われるが、最近では独自のデザインやジッポーらしい表面仕上げ、付加機能を備えているにもかかわらず、500円前後から選ぶことができる。ジッポーの名前の意味すら知らない100円ライター愛用者も好んで使用していることが多く、女性のバッグの小さな取っ手内側に「ジッポー携帯灰皿」がぶら下がっているのを、ぼく自身が電車のなかで発見し驚いたのも最近のことだ。

そんな身近でおもしろそうなノン・ライター・プロダクツを、ジッポー・ユーザーが試しに使ってみない手はない。ぼくは現在3種類の「ジッポー携帯灰皿」をその日のスケジュールによって使い分けているが、購入当時の小さな悩みは、毎日使える楽しみというものにかわってしまっている。ぼくにとって、明日使うジッポー・ライターを選んでいるときとまったく同じで、選ぶ楽しみが2倍に増えただけのことである。

最近の新聞に登場する「路上喫煙の全面禁止」や「嫌煙権」などの記事を目にするたびに、喫煙者のぼくはいろいろなことを考えてしまう。もしも、ほとんどのジッポー愛好者が「ジッポー携帯灰皿」というアイテムを、ジッポー・ライターとのペアで日常的に使うことができれば「煙草のポイ捨て」は激減するだろう。ある日突然、新聞に「ジッポー愛好者は決して煙草のポイ捨てをしません！」という、夢のような広告が載る日がくるかもしれない。

ジッポーの歴史の、新たなスタイル「アーマー」。

ARMOR CASE アーマー

まさに、「鎧」と呼ぶべき重厚感。ジッポー本来の強靱さを受け継ぎ、誕生したモデルだ。本体は、サテーナ・シルバー、ハイポリッシュ・クロム、ブラッシュド・ブラス、ハイポリッシュ・ブラスの四タイプ。シンプルでありながらも、その強烈な個性は新たなコレクティブルにふさわしい。

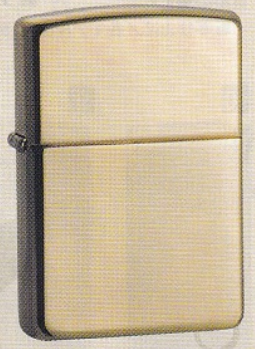


No.162
BRUSHED CHROME
3,000円

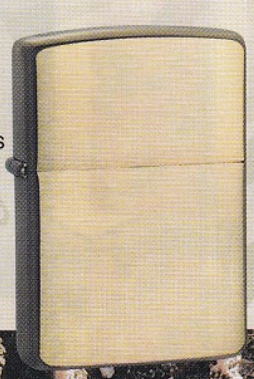


No.167
HIGH POLISH CHROME
3,800円





No.169
HIGH POLISH BRASS
5,600円



No.168
BRUSHED BRASS
4,800円





ケネコット社のためにつくられた異彩、ここに。

SOLID COPPER ソリッド・コッパー

六十年代初期に、ケネコット社のために限定製作されたノベルティ・ジッポー。それが、ソリッド・コッパーだ。ケース全体の黒赤色が異彩を放っている。銅はやわらかく変質しやすいので、手入れが大変だが、一つひとつ手づくりなので、きみだけの逸品になるのがうれしい。ボトムには「COPPER」の刻印、インサイド・ユニットはローズ・ゴールドで仕上げられている。



No.161
COPPER
4,800円



※10・11ページの商品のお問い合わせは、伊藤商事（株）☎03-3562-5811、マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072まで。

ZIPPO LIGHTER COLLECTION

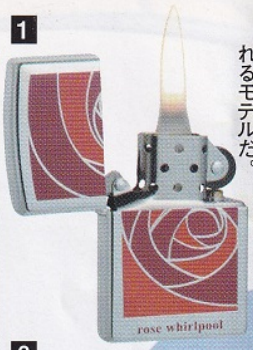
JAPAN MODELS 2003 NEW

2003ジッポー・ライター新製品ガイド

ジャパン・デザインが またひとつ、 ジッポー史にその名を刻む。

薔薇の香りと、オイルの匂いが、大人の心をくすぐる。
ローズ・ワールプール ROSE WHIRLPOOL

rose whirlpoolは、「薔薇の渦」の意。上品な薔薇のデザインを銀鏡面メッキで仕上げた、持つ人のアーティスティックな感性を引き立たせてくれるモデルだ。

1


2


①2S-ROSER
②2S-ROSEB
※各モデルとも6,000円

熱い龍と、クールな龍が、ジッポーに現れた。
ファイア・ドラゴン FIRE DRAGON

絵柄がケース全体につながるように、全面塗装（ALL SURFACE PAINTING）が施されたASPシリーズ。「炎の魂をもつ龍」と「冷静でクールな龍」が、その人の個性を強烈にアピールする。

3


4


③2ASP-FDR
④2ASP-FDB
※ASP加工・転写仕上げ／各モデルとも7,500円

純銀どくろの危険な香りが、遊び心に火をつける。
スカル SKULL -1941 REPLICA PLANE STERLING SILVER METAL-

人気の1941いぶし銀メッキに、純銀製のスカル・メタルを貼り込んだモデル。危険な香りに包まれて、ジッポーに灯をともす。そんな愉しみがある、よりハードなイメージのジッポーだ。

5


6


⑤41SM-SKULLA
⑥41SM-SKULLB
※いぶし銀メッキ・純銀メタル貼り／各モデルとも9,500円

日本の伝統とアメリカン・クラシックとの、新しい融合をその手に。
友禅和紙 YUUZEN WASHI

ジッポー初の、和紙を使用した伝統的な本格仕上げ。千代紙と呼ばれる紙から顔料でプリントし、エポキシの樹脂を全体に流し込んだ加工になっている。一つひとつ手づくりなので、すべて絵柄が異なり、まさにその人だけの逸品となる。

7


8


9


10


11


12

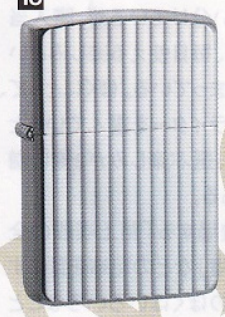

⑦2WA-B
⑧2WA-BK
⑨2WA-R
⑩16WA-B
⑪16WA-BK
⑫16WA-R
※各モデルとも10,000円



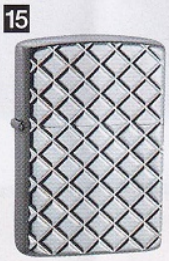
ジッポーと同じ、友禅柄が描かれた千代紙で制作された専用ケース

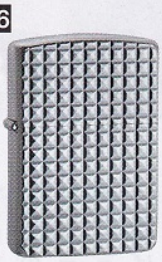
高級感あふれる深彫りが、着火シーンをさりげなく演出する。
アーマー ARMOR

鎧を意味する名前通り、通常のジッポーに比べ1.5倍の厚みがあり、重さも約70gある。銀メッキ深彫り仕上げを施した表面加工は、アーマーの厚みでなければ出せない風合いになっている。立体的で飽きのこないデザインは、定番ライターとしておすすめ。

13


14


15


16


17


18

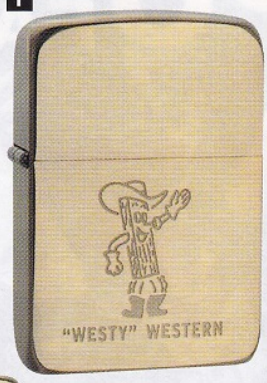

⑬162S-ET
⑭162S-3CT
⑮162S-LCT
⑯162S-SCT
⑰162S-RCT
⑱162S-DIA
※各モデルとも8,000円

※本ページの①～⑱までのお問い合わせは、マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072まで。

ジッポーの歴史を彩ってきたキャラクターが、いまここに。

1941キャラクター・ロゴ・シリーズ 1941 FAMOUS CHARACTER LOGO SERIES

古きよきアメリカを懐古させるノスタルジックなキャラクターたちが、1941レプリカのソリッド・ブラスに復活した。ブラスにしかない渋みと、1941モデル独特の形が、イラストをさらに愛らしくしている。











①No.1941B-A／6,000円
②No.1941B-B／6,000円
③No.1941B-C／6,000円
④No.1941B-D／6,000円
⑤No.1941B-E／6,000円

クールなブラックに映える彫刻が神秘的なモデル。

ブラック・アイス・シリーズ BLACK ICE SERIES

独自のPDV加工によって、傷に強い、光り輝くコーティングを実現した「ブラック・アイス」。鏡のようなブラックに、フローラル柄が見事に彫刻され、女性にも似合うデザインになっている。



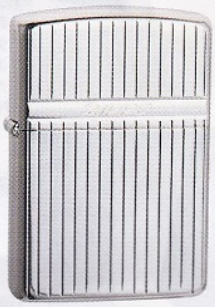
⑥No.150 フローラル／5,500円

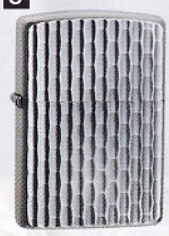
過酷なシチュエーションでも、おしゃれを忘れない大人たちへ。

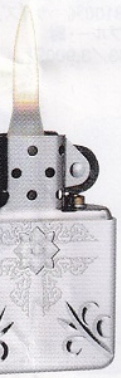
アーマー・シリーズ ARMOR SERISE

アーマーの名にふさわしい、重厚で大胆なデザインが目を引くシリーズ。日常での着火はもちろんだが、アウトドアなどの過酷な自然状況でこそ使いたい逸品に仕上がっている。

















⑦No.162S-A／9,000円
⑧No.162S-B／6,800円
⑨No.162S-C／6,800円
⑩No.162S-D／6,500円
⑪No.162S-E／9,800円
⑫No.162S-F／8,400円
⑬No.162S-G／9,200円
⑭No.162S-H／7,300円

歳月を経て、持つ人の人生までをも語るジッポーへ。

革巻シリーズ LEATHER SERISE

使い込むほどに手になじみ、ついにはその人をも語りはじめる。それは、革とジッポーが愛される共通の理由だ。上質な革を使い、一つひとつ手作業で仕上げられた革巻ジッポー。10年、20年後の姿も、愉しみのひとつだ。









⑮No.400
（オーストリッチ）
／12,000円
⑯No.400（トカゲ）
／6,800円・牛革製
⑰No.400（シープ）
／7,800円
⑱No.400（リザード）
／6,800円・牛革製

チタン特有の風格と強さを身に纏ったコーティング・モデル。

チタン・コーティング・シリーズ TITANIUM COATING SERIES

ダイアゴナル・ラインを想わせるツートン・カラーを配したコーティング・ジッポー。チタンという新素材でコーティングしながらも、どこかヴィンテージものをイメージさせる逸品。



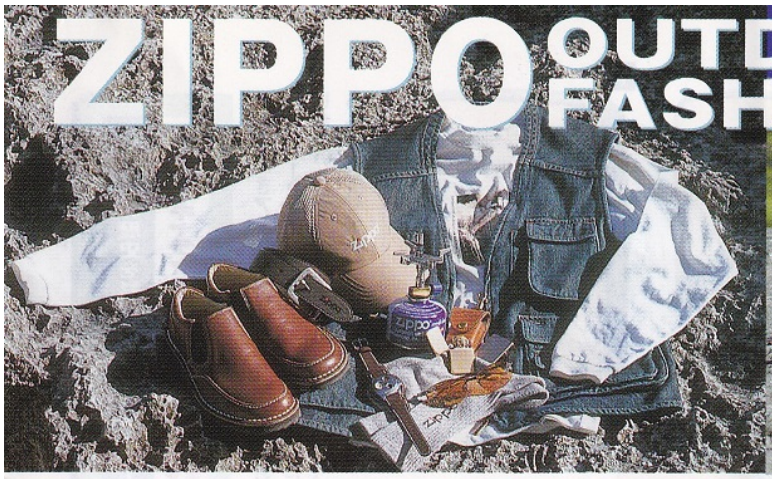


⑲No.TC-760H ⑳No.TC-770M
※各モデルとも7,500円

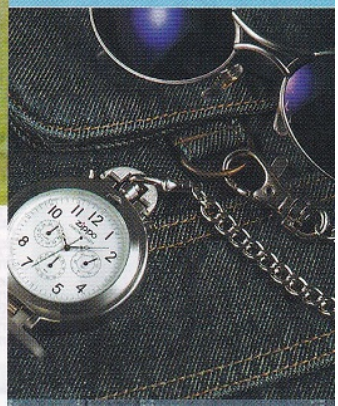
※本ページの①～⑳までのお問い合わせは、伊藤商事（株）☎03-3562-5811まで。

ZIPPO OUTDOOR FASHIONS 2003

ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズ 春夏新製品ガイド







CASUAL WEAR

苛酷なアウトドア・シーンにこそ、
ディテールにこだわり抜いた
ジッポー・カジュアル・ウェアが似合う。



②二重織デニム・ベスト
二重織デニムを使ったベスト。
機能的なポケットは、使い勝手も抜群。
素材／綿100%
サイズ／M・L・LL
カラー／ブルー・紺
No.12414／3,900円



①二重織デニムGジャン
新開発・二重織デニムを使用したGジャン。
着心地のよさは、一度着たら手放せない。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL
カラー／ブルー・紺
No.12403／3,900円





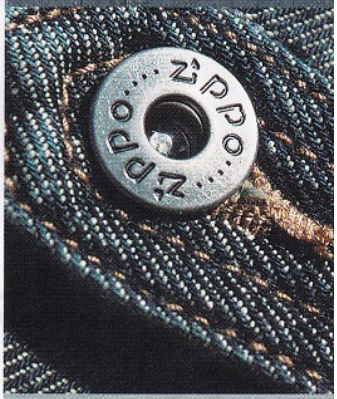
⑤高周波プリント・パーカー
ZIPPOのロゴを、シルバーのプリントでさりげなく表現。
背中にもZIPPOロゴがプリントされている。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL
カラー／サンドベージュ・TOP・モカ・ネイビー
No.22407／2,900円



④転写プリントTシャツ
自然をモチーフとしたプリントで、
アウトドア・シーンに似合うデザインに
仕上げている。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL
カラー／オフ・TOPグレー・モカ・ネイビー
No.22408／1,900円



③縦横スラブ・デニム・ドリズラー
インディゴ・カラーの色合いと、
あたり感の出たドリズラー。
着る人を選ばないベーシック・デザイン。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL
カラー／ブルー・紺
No.12415／3,900円





⑧サッカー・シャツ・アンサンブル
アース・カラーのチェック柄シャツとTシャツの、
定番とも言える組み合わせ。
素材／シャツ（綿85%・ポリエステル15%）・
Tシャツ（綿100%）
サイズ／M・L・LL　カラー／ブルー・レッド・グリーン
No.22424／2,900円



⑦高周波プリントTシャツ
転写プリントと高周波プリントの
かけあわせで変化を持たせたTシャツ。
素材／綿100%
サイズ／M・L
カラー／オフ・カーキ・チャコール
No.22418／1,900円



⑥アップリケ・トレーナー
フェルト・アップリケが印象的な
トレーナー。ツートンの配色もポイント。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL
カラー／オフ・TOPグレー・ネイビー・
チャコール杢
No.22414／2,900円



問（株）キタガワ　☎ 058-251-2600　直営店「ユニキタ」☎ 058-254-9335

SHOES

決して色褪せることのない機能美。ジッポー・ライターを手に、ジッポー・シューズを足に、きみだけの新境地を切り拓け。



③スポーツ・カジュアル
ステッチダウン製法
カラー／ブラック・
ダークブラウン・タン
No.2488／7,800円



②アウトドア・カジュアル
グッドイヤー・ウェルト製法
カラー／ブラック・ブラウン
No.5712／6,800円



①アウトドア・カジュアル
グッドイヤー・ウェルト製法
カラー／ブラック・ダークブラウン
No.5711／6,800円



④タウン・カジュアル
ステッチダウン製法
カラー／ブラック・ダークブラウン
No.2470／7,800円



⑦モカシン
マッケイ製法
カラー／ベージュ・ダークブラウン・ネイビー
No.2453／5,900円



⑥モカシン
マッケイ製法
カラー／ベージュ・ダークブラウン・
ネイビー・グレー・ワイン
No.2379／5,900円



⑤タウン・カジュアル
ステッチダウン製法
カラー／ブラック・ブラウン
No.2482／7,800円

問 東邦レマック（株） ☎03-3834-4262

CAPS

基本性能が、さらなる進化を遂げた。豊富なライン・ナップは、コレクション魂を刺激する。

⑤6方バイオ・ウォッシュ・キャップ
共生地バックル・アジャスタ仕様
素材／ツイル
カラー／ブラック・ベージュ
ZI-001-20／1,900円





⑥風船腰付きキャップ
ゴムテープ・マジックテープ・
アジャスタ仕様
素材／ナイロン
カラー／ブラック・ベージュ・カーキ
CH-20605-10／1,900円





⑦6方ストレッチ・キャップ
フレックス風ゴムテープ入り
素材／ストレッチ・サージ
カラー／ブラック・ベージュ
YS3-ZF002／1,900円



②バイオ・ウォッシュ風船キャップ
サイド菊穴付き
後ろゴム調節付き仕様
素材／スラブ・デニム
カラー／茶・グレー
CH-20606-3／1,900円



①6方バイオ・ウォッシュ・キャップ
菊穴付き共生地マジックテープ・
アジャスタ仕様
素材／デニム
カラー／ブラック・ネイビー
YS3-ZF001／1,900円





④6方バイオ・ウォッシュ・キャップ
菊穴付き共生地バックル・アジャスタ仕様
素材／ヘリンボン
カラー／チャコール・ベージュ・シルバー
YS3-ZS002／1,900円



③6方ダブル・メッシュ・キャップ
菊穴付き後ろダブル・メッシュ使い・
共生地マジックテープ・アジャスタ仕様
素材／ナイロン
カラー／ブラック・ベージュ
YS3-ZS001／1,900円

問 ヨークス（株） ☎03-5825-0772

SOCKS

大地からの衝撃を吸収する、すぐれたクッション性。自分のいる状況がいかに厳しくても、ジッポー・ソックスがあれば、フィールドを踏破できる。





③ロゴ底パイル編みソックス
素材／綿・アクリル・
ポリエステル・ポリウレタン
カラー／ブルー杢・グレー杢
ZIPPOロゴ刺繍入り
※参考商品



①無地リブ編みソックス
素材／綿・アクリル・
ポリエステル・ポリウレタン
カラー／ホワイト・グレー杢・
ブルー杢
ZIPPOロゴ刺繍入り
※参考商品

②ショート・ソックス
素材／綿・アクリル・
ポリエステル・ポリウレタン
カラー／グレー杢・ブルー杢
ZIPPOロゴ刺繍入り
※参考商品

問 福助（株） ☎072-223-2153

WATCHES

ゆたかな時間を積み重ねることでしか、刻むことのできない人生の深みがある。ジッポーは、その歓びを知っている。



⑤エアフォース・ウォッチ
1/10クロノグラフ・カレンダー付き・
専用ケース入り
材質／オール・ステンレス
DWZ-1／15,000円



④タイム・ライト
専用ケース入り
材質／ライター：
真鍮・時計：合金
TL-106／10,000円



⑥タイム・コンパス
ミラーフェース・コンパス・
温度計付き
材質／本体：ブラスケース・
ベルト：ステンレス
TC-7／12,800円



⑦アーミー・ウォッチ
100m防水・ネジロックリューズ
材質／オール・ステンレス
AZ-12／10,000円

⑧ジッポー・ウォッチ
発売10周年記念特別限定品
500m防水
材質／オール・ステンレス
15,000円



①タイム・フラッシュ
高照準LEDライト・
-20℃～70℃温度計・
高感度コンパス・
シグナル反射鏡付き
TF-2／10,000円

②タイム・コンパス
コンパス・温度計付き
材質／合金
（亜鉛キャスト）
TC-3／10,000円



③タイム・ポケット
1/10クロノグラフ懐中時計・
専用ケース入り
材質／キャップ：真鍮・
本体：合金（亜鉛キャスト）・
裏蓋：ステンレス
TPC-1／10,000円

問（株）ヒューマンフレーム
☎03-3870-3111

ZIPPO OUTDOOR FASHIONS 2003

BELTS

強靭な素材にも、細部へのこだわりにも、ジッポーのクラフトマン・シップが宿る。



●牛革ベルト
②No.2356／2,900円
カラー／ブラック・チョコ



●布製ベルト
①No.1581／800円
カラー／ブラック・紺・
モスグリーン・ベージュ





●合成皮革ベルト
③ZP-1502／1,500円
④ZP-1901／1,900円
カラー／ブラック・チョコ



問（株）ファンス ☎072-243-1100

LEATHER GOODS

その屈強さと耐久性は、まさにジッポー譲り。風雨に晒され、歳月を重ね、それは、あなたにしか持つことを許さない逸品になる。



④ライターケース
素材／牛革
カラー／ブラック・茶
ZP-160／2,200円







⑥キーホルダー付き
ライターケース
素材／牛革
カラー／ブラック・ブラウン
ZP-72／2,200円

⑤ホックタイプ・
ライターケース
素材／牛革
カラー／ブラック・ブラウン
ZP-71／2,000円

①携帯電話ケース
素材／牛革
カラー／ブラック・茶
ZP-163／3,500円





③二つ折り札入れ
素材／牛革
カラー／ブラック・茶
ZP-164／5,000円

②ラウンド・ファスナー札入れ
素材／牛革
カラー／ブラック・茶
ZP-165／5,300円

問ヨシナガ（株）　☎03-3864-3834

ZIPPO OUTDOOR FASHIONS 2003

SUNGLASSES & FRAMES

一つひとつが、ちがう表情を演出してくれるアイウェア。ジッポー・ライターを持ち替えるように、気分にあわせて選べるジッポー・アイウェア・コレクション。

●サングラス
①ZP-212-1／2,500円
②ZP-211-1／2,500円
③ZP-216-1／2,500円
④ZP-214-2／2,500円
⑤ZP-215-2／2,500円
⑥ZP-213-2／2,500円
⑦ZP-304-2／3,900円
⑧ZP-306-2／3,900円
⑨ZP-305-1／3,900円
⑩ZP-300-1／3,900円
⑪ZP-301-1／3,900円
⑫ZP-307-1／3,900円

●メガネフレーム
⑬ZP-130／オープン価格
⑭ZP-133／オープン価格
⑮ZP-134／オープン価格
⑯ZP-132／オープン価格
⑰ZP-131／オープン価格
⑱ZP-135／オープン価格









問（株）サンリーブ ☎0778-52-1330

ZIPPO OUTDOOR FASHIONS 2003

OUTDOOR GEARS

炎への、執着とも呼べるこだわり。ジッポーの原点である「It Works!」が、いまも心に燃えつづけている。

⑦カークス
メタルマッチ・ナイフ・ハサミ・ヤスリが
ひとつになったアウトドア・ツール。
1,500円





⑤キャンピング・グリル
強力な火力と耐久性を兼ね備えた、
ジッポーが生んだ世界最強のグリル。
グリルのみ／35,000円
バッグ付き／40,000円

⑥チタンケトルTK-500
専用ポーチ付き／4,500円
＜チタンケトルTK-500セット／9,000円＞
チタンケトルTK-500（1個）、
110gカートリッジ（1本）、専用ポーチ付き





●ストーブ
①ポケット・ストーブ
ポケットに入る、収納サイズ世界最小・
クラス最高の2,700kcal。
5,800円
②ALストーブ
バーナー・サイズは大きいながら、85g と軽量。
2,900kcalの高出力。
6,800円

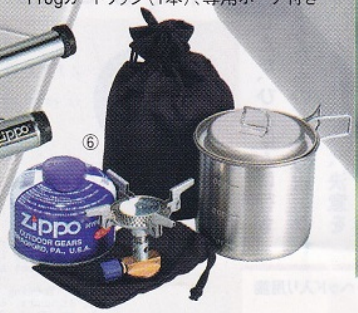


●ランタン
③ZERO-i メッシュ・ランタン
ZERO-iランタンのグローブ
をステンレス・メッシュにする
ことにより、ハードな使用
にも対応。
7,500円
④ZERO-iランタン
1/3の燃料で、160W
の強力な光。大型
ランタン・クラス
の明るさを実現。
7,500円



⑧MMスコープ
縮めれば30倍の顕微鏡として、伸ば
せば8倍の望遠鏡として
使える単眼鏡。
1,500円





問興栄工業（株）　☎03-3800-5720



ジッポー物語

第三章／生涯保証とPR作戦

かとう ともゆき

はじめに「生涯保証」ありき

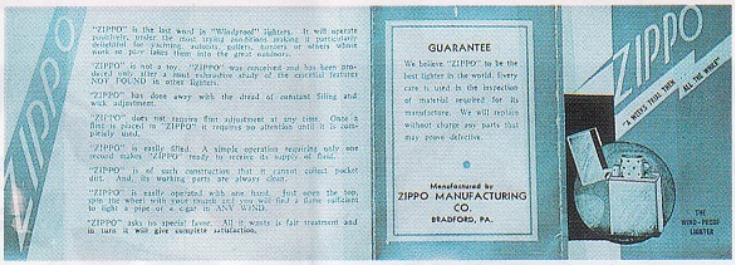
有名な修理サービス「ライフタイム・ギャランティ」は、ブレイズデルの発案。考え方はシンプルで、「機能しないものは無条件で、無料で修理する」というものだった。記録は残っていないが、初期の説明書には「ジッポーは世界でもっともすぐれたライターであると確信しています。欠陥のある部品は無料でお取り替えします」と明記している。

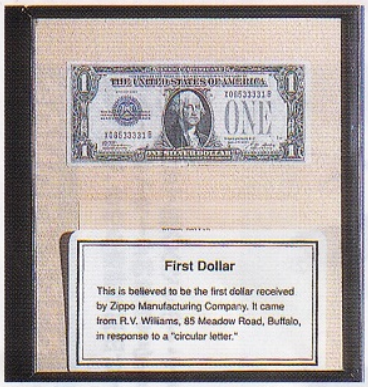
この生涯保証には、有名な逸話が残されている。当時、ブレイズデルがジッポーの完成記念に配った二十五個のうち一個が故障した。修理品を持ち込まれたスポーツ・ショップ店主は、「近くにジッポー社がありますから、そこに持っていったほうが早い」。修理後にブレイズデルは、「無料で結構です」。お客さんは、大感激。〈修理代二十五セントをサービスするだけで、こんなにも喜んでいただける。ずっと修理を無料にして喜んでいただこう〉と決断したという話だ。

そんな工房に五年間、パート・タイマーとして従事していたワリー・ロストがいた。その後はカナダに移り住み、一九九一年にカナダ・ジッポーにライター修理を目的に訪問。話は修理保証におよび、「開発には苦労が多く、初期モデルは故障がちで修理も多かった」。実際、創業期は修理がなければ成立しなかった事情もあり、生涯保証はすぐに機能した。

これを頑固に守りつづけたブレイズデルは、一九五九年の機械専門誌の取材で「どれだけの人々が、ジッポーをよい製品だと言ってくれるかを考えなさい」と説き、一九六四年の全米誌インタビューで「最初から品質が高いだけではいけないと考えていた。それには演出が必要で、裏付け、証明しつづけることが必要だと思っていた。生涯保証がなければ、一介の町の工場から脱して成功することはなかったし、自転車に乗って町へも出られなかった」とも語っている。

創業初期の説明書





初売り上げの1ドル。この「ファースト・ダラー」は、バファローから届いた購入代金。
（ビジターズ・センター蔵）

軌道に乗らないライター販売

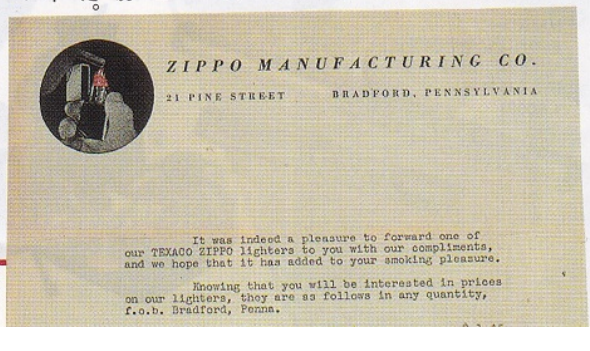
「生涯保証」を武器にしたものの、創業初期は結果が出せなかった。「風に強い。片手で点けられる。オイルも充分入る。服を傷めない。スマートなクローム仕上げ。男女問わず、ギフトに最適」。新製品ジッポー・ライターは、アウトドアやスポーツ・シーンに向け、耐風性を最大の魅力とした。価格は、当時では高値の一ドル九十五セント。全米に普及しはじめた扇風機に炎をかざし、耐風性能を訴える「トライ・ザ・フアン・テスト」は自信のあらわれだった。

まずは、地域のタバコ店、金物店、スポーツ用品店、宝石店から売り出したが手応えはなかった。ゴルフ誌にささやかな広告を打ったものの、オーダーは三個だったとも言われる。ライター業界進出最初の一か月目、一九三四年一月の売り上げは八十二個、六十九ドル十五セント。つづく二月の売り上げは、三六七個、三二ドル。最初期モデルの製作数は一、五〇〇個と言われ、完売には遠かった。

数か月のあいだに、資金も底をつきはじめていた。この時期を振り返ってブレイズデルは、「市内のあちこちの銀行で融通手形を振り出し、従業員の給料をやりくりした」。実際にブラドフォードの銀行家H・D・レッドフィールドは、資金繰りに苦慮するブレイズデルに会社の売却をすすめていた。それでも自分が選んだ道を信じ、事業を軌道に乗せるために、いつも心を砕いていた。一方で作業場の拡大も求められ、賃貸料も三倍の月額三十ドルにハネ上がることも覚悟のうえ、工房を二階全体にひろげた。事務所はすぐ先のパイン通り二番地に設け、ついで三五番地に移転したが、ひんぱんに行き来し、「ジッポーは命のようなものだ。ジッポーなしの生活は考えられない」と家族に話し、決意を新たにしていた。



オリジナル・モデルの製造プロセス



パイン通りのレターヘッド入り用箋

パンチボードで動き出すジッポー

ブレイズデルの最初の販売促進策は、長距離バスに向けられた。ブラドフォードのバス・ステーションを運営する友人を通じ、ドライバー全員にサンプル配布することにした。「行く先々で使ってもらえば、製品はひろがる」と考えたが、思うような効果は上がらなかった。

明るいきざしが見えたのは、一九三四年後半。「パンチボードの賞品」としての販売からだった。これはピッツバーグの高級タバコ卸販売業「ゴールド・スミス・ブラック」のレイ・ジョンストンの提案。一七二個が一か月たっても売れ残るのを見て、パンチボードで成功していたキャンディ・メーカーを思い起こし、ジッポーをパンチボードの賞品に付けることをすすめた。



ジッポー製パンチボード



パンチボード・メーカーはシカゴにあり、アメリカ中のビリヤード場、タバコ・ショップ、ホテルの葉巻売店、お菓子屋などに提供し、ギャンブル的おもしろさから人気を集めていた。ボードには一〇〇穴ボード、二〇〇〇穴ボードなどがあり、一回二セントから五セントを投じ、どれかを選んで押すと、幸運な人は賞品が当たる仕組み。賞品には、旅行もあった。

ジッポー社のパンチボードも数多くつくられたが、大当たりのジッポーは五、六個、二等のタバコは二十パック付けられたものが普通だった。最初に使用したのは、市内数か所でビリヤード場を経営していたE・G・ホランドで、この縁からブレイズデルの親友になっている。

パンチボードの宣伝効果は思いのほか高かったが、まだまだ販売エリアは狭く、ニューヨーク、ペンシルバニア、オハイオ、インディアナ、イリノイ、ミシガンでやりとりされていた程度。現在、ジッポーは宝石店、タバコ店のショー・ケースを飾っているが、このころは「パンチボードの賞品」としての存在だった。それでもこの販売法は、法律で禁止されたとする一九四〇年代までに三十万個の売り上げを達成。販売中止は、十ドルなどの現金を入れた「マネーボード」とされる悪質なものが横行し、なかには空くじばかりのものも報告されていたからである。結局、重要な販路を失うことになったが、ブレイズデルは「パンチボードの仕事をしていなければ、いまのジッポーはなかった」とスタッフに言い含めていた。

特別加工「メタリケ」で名入れ開始

パンチボード着手の翌一九三五年、ブレイズデルはアイオワ州の生命保険会社からセールス・コンテスト受賞者用にネーム入りジッポー二〇〇個のオーダーを受けた。ほぼ同時に、石油精製業のケンドール社も得意先ギフトとして、ロゴをメタル箔貼りしたモデルを五〇〇個購入。このオーダーは、「苦労つづきのブレイズデルへの友情」だったと言われている。

このときブレイズデルは、ライターのボディをキャンバスとするジッポーの活路を見いだした。

メタリケの魅力をつたえる広告



当時の企業向けパンフレットには、「お客さまは、一日に何回タバコに手を差し伸べるでしょうか」と提起し、企業マークなどをボディに添える効果を強調。「貴社のサインやマークは、美しく再現されます。エナメル着色したメタルには持続性があります」。組み合わせ文字モノグラムについては、「個人のギフトとして流行しています。お好みのカラーでお届けします」。

また、「ジッポー耐風ライターをベストのポケットのなかに！」と題した企業向けチラシには、「貴社の得意先や見込み客といつもいっしょにいられたら……売り上げは急上昇し、ライバルに大きく差をつけることは間違いありません。でも、そんなことは実際にはできません。あなたにかわって彼らのベストのなかに入ってお付き合いします。ほかの宣伝用ギフトと違い、ジッポーは贈られた人から離れません。かならず役に立つからです……」。

この特別加工は「メタリケ」(METALIQUES)と呼ばれ、ケンドール・モデルのように極薄のメタルを成型、貼付、着色したモデル。ブレイズデルは、この金属加工を専門メーカーのプロバー社(本社／ニュージャージー州)に依頼していた。そこでは、一センチから二十センチまでの多彩なメタリケを製作。シアーズ&ローバック、コダック、キャデラックなどに幅広く提供していた。これらは製品の高級感を表現するものとして採用されていたが、舞台裏は手間の連続だった。熟練クラフトマンをして一日約五十個が限度の製作工程。この伝統的手法が最盛期を迎えたのは、三〇代後半。五〇〇種類以上製作されたが、第二次世界大戦に入ってからは、しだいに姿を消していった。

約〇・〇八ミリのメタル箔をボディに貼付し、着色をほどこすメタリケ。すべて手作業で、


各種オリジナル・メタリケ

細心の注意が求められた。まず、打ち抜かれたメタリケをライター表面に接着。一部でも指がふれると付きが悪くなるので、爪楊枝の先で接着剤を塗り、つぎに位置を決めて貼り付ける。その後、ライターに木製ブロックを乗せ、そのまま一晩寝かす。さらに大変な着色は、それからだった。この作業をブレイズデル家は、全員で応援した。ブレイズデルは作業場からメタリケを持ち帰り、自身が監督をしながら、妻の書斎で娘二人を加え、夜遅くまで貼付を行なっている。

この間、ジッポー社では「メタリケ充填サービス」もはじめていた。イニシャルやモノグラムも三七年までに、七色のオーダーで四文字以下の自分のネームを入れることができた。受付終了した四十年代以降でさえ、従業員への贈りものとして装着されていた。

また、アール・デコの流れを受けたデザインにより「メタリケ」は、芸術的価値の高い仕上がりになっており、近年、酔っ払いが描かれた「リベーラー」などが名品として復刻されている。

全米向け広告第一号掲載

ブレイズデルは、その後も地道なセールスを積み重ねていた。多くの得意先に宣伝不足を指摘されていた。ミネソタ州の卸販売会社の通販カタログに、一コマの製品紹介を掲載し、二ドルで販売していたが、そのような小さなPRでは成果は上がらなかった。ブレイズデルは、ジッポーの便利さや耐風性をつたえる強力な方策を模索しはじめた。

そのひとつが、女性イラストを使ったイメージ作戦。このころチャーミングな女性を描くことで、アルベルト・バルガスに熱い支持が寄せられていた。「バルガ・ルック」と呼ばれ、一世風靡していた。前線のGIたちに愛され、戦地宿舎のベッド・サイドにピンで留められたことから「ピンナップ・ガール」と呼ばれていた。ブレイズデルは、その熱心なファンのひとりであった。

アイディアとは、バルガ調ピンナップを使ったキャラクター製作。この作画を担当したエノック・ボウルズが、それを魅力的に完成させた。現在では耐風性能のイメージに由来する「ミス・ウィンディ」の名が与えられ、ジッポーの伝説的キャラクターとして生きつづけている。

「ミス・ウィンディ」がデビューを果たすのは、一九三七年。困難な問題を抱えていたにもかかわらず、ブレイズデルは思い切った賭けに出た。クリスマス・シーズンに向け、全米にジッポーの存在をアピールすることで、創刊まもない都会派の月刊男性誌「エスクワイア」に広告を打つ決断をした。あらゆるルートから資金を集め、借金の三、〇〇〇ドルで全米広告第一号を掲載した。

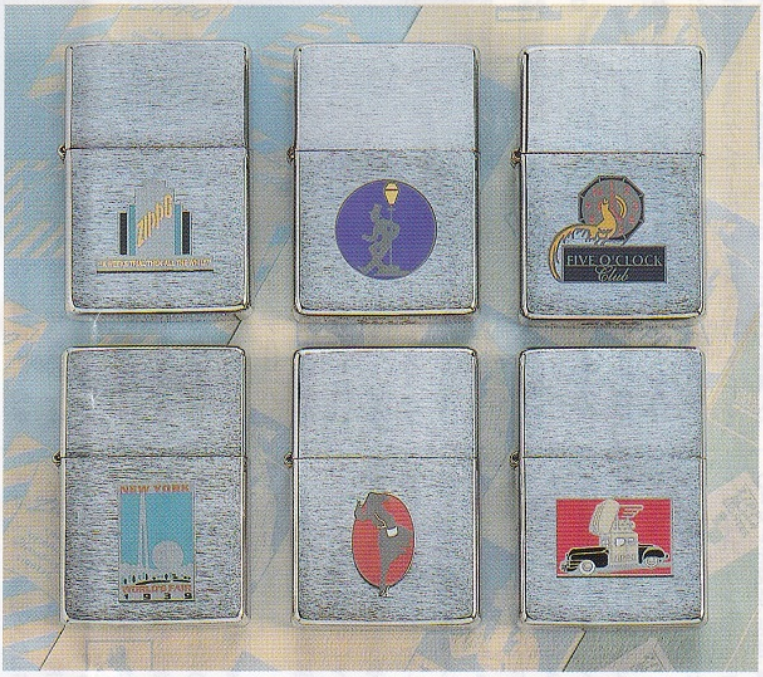
しかし、まだ名の通っていない製品を雑誌に載せるということは、ギャンブルに等しいことだった。自身も「広告と結びつく充分な販売網を整備していなかったので、効果はほとんどなかった」。

広告の内容は「強い風のなかでも吹き消されない。いつでも火が点くライターがあります。ホイールをひとこすり、大きな炎が得られます。ジッポー耐風ライターは、ドライブのときでも片手で使える非常に便利なライターです。大きな炎は暗闇でキーの穴を探すときも役に立ちます。スポーツやアウトドアなどでは、ほんとうのガイド・ラインになります。ジッポーは生涯保証をする唯一のライター。いままでに修理で一セントも払った人はいません」。

また、前年の一九三六年には、オリジナル・モデルを改良。スクエア型ケースはそのままに、ヒンジがケースの内側に入れ込まれた。この「三六年型モデル」の登場により、スタイルは以前よりシンプルになった。この時期、バレルを四連に変更。インサイド・ユニットの構造も改良。加工法では、手加工だった線刻にダイアモンド・チップ加工を導入。また、同一九三六年の三月三日に最初のポケット・ライターの特許認可を受けたことから、ボトムの特許申請中刻印は消え、「PAT2032695」が刻まれた。

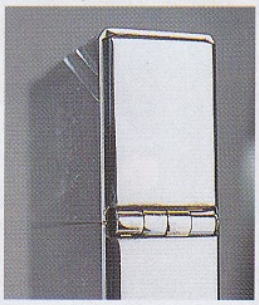
（第四章「GI人気爆発」につづく）

復刻されたメタリケ名品シリーズ





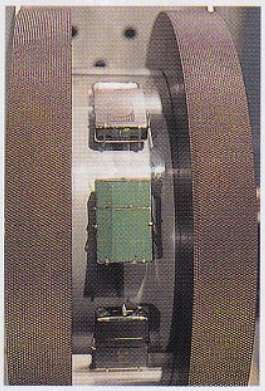
ミス・ウィンディが登場した1937年の全米広告第一号



内装ヒンジになったジッポー



最初の特許番号を刻んだボトム



スクエア・モデルをグリーンにペイントした当時の試作品（ビジターズ・センター蔵）

It's a Zippo® Story.

AN AMERICAN CLASSIC

ジッポー・ストーリー傑作選①

ジッポーはその70年の歴史のなかで、数多くの伝説をいまに残している。それらの逸話はどれもが、ジッポーの強靱さとタフネスさを証明していた。ブレイズデルが掲げた哲学「It Works!」は、これからも受け継がれていく。

水中から生還するも、一発着火。

ケベックが、オンタリオ州北部へ、祖父と釣りにでかけたときのことだ。彼は、その数年前に祖父からもらったジッポーを持っていた。そのライターは、祖父が戦時中に使っていたもので、彼にとっても特別な価値のあるものだった。

釣りを楽しんでいるふたりを襲った嵐のなか、キャンプ地へ帰る途中、彼らのボートが突然転覆。水に投げだされた彼らは、近くの島まで泳ぎ着き、そこで嵐が去るのを待つことにした。びしょ濡れであるふたりにとって、夜の寒さを苛酷なものだった。そのときケベックはポケットにジッポーが入っていることを思いだし、使ってみることに。それは見事に着火し、ふたりの体を温め、命までも救ったのだった。「ジッポー、ありがとう。見た目のかっこよさだけでなく、頑強で頼りになるジッポーには本当に感謝しています」。彼はそれ以後もずっと、愛するジッポーを使いつづけている。(A・D・ケベック/カナダ在住)



タフネスさは、千度以上。

五年前、自分の名前が刻まれたジッポーを妻にプレゼントされたウェナチーは、いつもそれをシャツのポケットに入れていた。

彼は、アルミ工場で働くサラリーマン。ある日、金属溶解に使われる溶鉱炉の炭素棒の取り替え作業中に、その大切なジッポーを炉のなかに落としてしまった。炉の温度は、摂氏千度。彼は火箸でつかんで取りだしたが、完全に炎に包まれたジッポーはそのまま燃えつづけていたので、通路に置いたまま仕事にもどることにした。

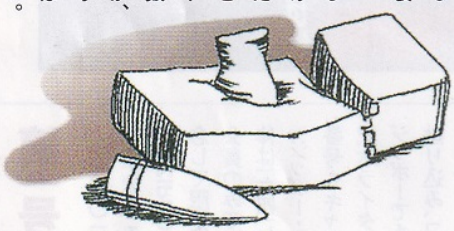
しばらくして、溶けて破壊されたであろうジッポーを探しにいき、彼は驚くことになる。なんと、溶けていなかったのだ。それどころか、ふたをこじ開けると火花が飛び散り、インサイド・ユニットのなかにはコットンまで残っている。家に帰ってオイルを補充し、ホイールをまわす。ここでもジッポーは、一発着火。彼いわく「ジッポーが復活するのを見るまでは、炉に落ちたものはなんでも跡形もなく消えてなくなるものだと思っていた」。ジッポーの頑強さは、千度の熱にも耐えてみせたのだ。(A・L・J・ウェナチー/ワシントン在住)



着火から救命まで。

一九六八年二月、ベルフラワーはテト攻勢中のベトナム・ケサンにいた。そこではすでに六十三日間の、日夜を通しての戦いが繰り広げられていた。

そんなある夜、彼のいる戦地が侵略の危機にさらされた。そして彼が銃火に立ち向かった次の瞬間、胸に激痛を感じながら、泥のなかに倒れこんでしまった。迫りくる恐怖のなかで、撃たれた自分の姿を恐る恐る見てみると、胸部には弾丸の跡が。しかし、いつもジャケットの胸ポケットに入れていたジッポーが、弾丸を受けとめていたのだ。「ジッポーが命を救ってくれた。数年前になくしてしまったが、三十年以上もの余命を与えてくれたジッポーにはいまでも感謝しています」。(A・D・ケR・R・ベルフラワー/カリフォルニア在住)



(創業70周年モデルに収められた小冊子より)

開催決定!

Zippo® OSAKA SWAP MEET 2003

この感動は、一生忘れない。

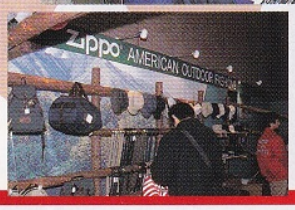
大阪・万博公園お祭り広場は、
世界最大のコレクション・フィールドに!
ジッポーのすべてが一堂に集う、
2年に一度のスワップミート。
ドラマの主役は、それぞれの君だ。

2003年9月28日(日)　9:30~17:00(入園は16時まで)
入場無料(ただし、万博公園自然文化園の入場料250円が別途必要です)
※ウェルカム・パーティー(前夜祭・有料)　9月27日(土)開催予定あり



- ●会場/万博公園・お祭り広場
- ●交通/JR「新大阪」駅より電車で30分。大阪モノレール「万博記念公園」駅、「公園東口」駅下車。
- ●主催/ZIPPO MANUFACTURING COMPANY
- ●共催/伊藤商事(株)・マルカイコーポレーション(株)・ヨシナガ(株)・(株)ヒューマンフレーム・(株)サンリーブ・興栄工業(株)・伊藤忠ファッションシステム(株)+ZIPPO CLUBライセンシング・グループ
- ●実施/ジッポー大阪スワップミート実行委員会





ジッポー・スワップミート事務局(4月1日開設予定)
●最新情報は、zippo-japan.comでごらんください。
●出展者募集案内は、5月より。ふるってご参加を!

中村節夫さん「笑っていいとも」で、ジッポーのウンチク

昨年、十月十五日放送分のタモリら出演の人気番組「笑っていいとも」（フジテレビ系全国ネット）に、「ジッポー・ワールド・ナカムラ」（大阪）の中村節夫店長が出演し、お得意のジッポーのウンチクを発信し、ファンの話題を呼んだ。出演コーナーは、「これだけは売れないグランプリ」。その名品として、一九三三年製の「ジッポー・オリジナル」を持参。トークでは発明者、ジッポーの誕生秘話、ネーミング、究極のときに役立つなど、ジッポーの魅力を簡潔に説明し、会場は大受けとなった。競争相手を大差で破り、チャンピオン賞を獲得するというオマケもついた。説明資料には、本誌第八号やカレンダーなども使用。思いがけないところで、「It Works!」だった。





三十四年の時を経て、ジッポーが生還

ジム・マーデンがベトナム戦争従軍時に持っていたジッポーが、ニュージャージーで見つかった。マサチューセッツ州でなくして以来、じつに三十四年ぶりの再会。ジム氏は、ともに戦渦をくぐり抜けたジッポーを手に、誇らしげに取材に答えていた。



Vietnam veteran Jim Marden of New Milford displays the lighter he carried with him during his tour of duty in 1967-68. Lost 34 years ago in Massachusetts, the lighter was found last week in New Jersey and returned to him this week. The News-Times/Wendy Carlson

Light of his life

Long-lost link to fallen comrades finds its way home

By Joe Hurley
THE NEWS-TIMES

It was just a cigarette lighter.

Just a lighter passed from hand to hand among soldiers who would die in the jungle.

Just a lighter that brought tears to Jim Marden's eyes when he remembered those long, dark young faces and their feet sticking out of body bags.

Just a lighter that disappeared from a Massachusetts washroom in 1968 and came back to him last fall by his platoon.

Just a lighter that recently turned up in New Jersey, years later and, surprising, in a drawer for decades. It was spotted by chance last week and four men worked to find the owner.

Just a lighter that, after 34 years, returned to Jim Marden this week.

"I've got my lighter back," Jim said Saturday in the garden of his New Milford home. He spoke carefully, trying to hide how his emotions. His throat was a little hoarse. He was exhausted, he hailed for a moment.

"At some point everybody in my company lit a cigarette off that lighter or touched it. That's the way it was when you were huddled in a foxhole. The lighter would be passed along from its owner to someone who needed it.

Jim has a picture of the 47 men in his platoon when they arrived in Vietnam in 1967. And he has a picture of the ones who survived when his tour ended a year later. There were just five. The others were dead or wounded.

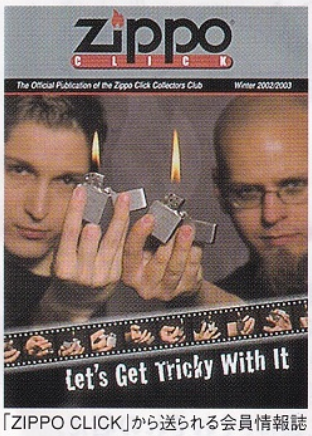
LONG-LOST, PAGE A8

The News-Times/Wendy Carlson
James Marden holds a photograph of the 47 men in his platoon, only five of whom survived.

「THE NEWS-TIMES」より

「ZIPPO CLICK」メンバー限定第一号ジッポー

二〇〇二年に発足した、ジッポー本社が運営する本格的なコレクターズ・クラブ「ZIPPO CLICK」。このオープニングを記念して限定製作されたライターが好評である。会員のみで一、〇〇〇個販売されたもので、本体は一九四一レプリカ。ブラッシュ・クローム仕上げ。「ジッポー・クリック」ロゴ入り。申込者の会員番号もキャップに刻印されている。いわば入会記念ライターで、最初のコレクターズ・クラブ・ジッポーでもある。スリーブには名前シールを貼り込み、コレクターを喜ばせている。





「ZIPPO CLICK」から送られる会員情報誌

コレクター登場

「キャンバスを、キャンバスへ」



大野栄司氏



わたしがジッポーを収集しはじめたのは九年未満とまだ浅いものです。十四年ごろからで、十

その出逢いは自慢にはなりませんが、パチンコの景品でした。見た瞬間、なんと変わったデザインのライターなんだろう!? しかし、こんな奇抜なライターも、ひとつやふたつあってもおもしろいでは？ と思い、ゲットしました。あとで調べてみると、これが「パレット・スマイス」（以下B・S）とわかりました。B・Sに魅せられたのは、そのデザインにあったのです。ジッポーをキャンバスにして、めいっぱい大胆に、かつ絵画的に描かれている点が好きです。

努力あってか（？）、九十五年以降の、ジッポー社のカタログに載っているB・Sブランドのジッポーはすべてゲットすることができました。各々のモチーフを色鮮やかに描いたB・Sジッポーを六十個も並べると、"もはやこれは、ひとつの芸術だがや！"とひとり自慢し、額などに入れて楽しんでいます。

ジャンル別には、ほかにインディアン、クジラ、M・モンロー、蒔絵（漆）などがありますが、いずれも小物との組み合わせを工夫し、飾りつけを楽しんでいます。

わたしにとってのジッポーの楽しみ方は、完成されたひとつのジャンルごとのジッポーを、わたしなりのキャンバスに飾り、描きつづけていくことです。

（お便りは、愛知県名古屋市熱田区桜田町二五―七―七〇六）

ニセモノ注意報①
そっくりエンブレム貼り

ジッポー・ロゴがボトムにも刻印されていない、ノーブランドのジッポー型ライター。いかにもアメリカ育ちのジッポーらしい雰囲気をつくっている「AMERICAN LEGEND」とある、イーグルのピーター風エンブレム。ジッポーらしく見せる演出は、にくいばかりのアジア製(?)。ネット・オークションでは、細部にご注意!



新しいのは、ブラック&レッド。

より精悍に。よりシンプルに。ジッポー・アクセサリーがリニューアル。

ジッポー・ライターに欠かせないオイル、フリント、ウィック。これら専用のアクセサリーが、いままでのパープル&レッドから変わる。精悍なブラックを基調に、燃えるレッドのコンビネーション。モチーフは、風に立ち向かう伝統の防風ガード。ジッポーならではの、究極のシンプル・アートでデビューする。

今夏発売予定



現行のオイル、フリント、ウィック

オイル(大/355ml入り) 1,000円
オイル(小/133ml入り) 480円
フリント(発火石6個入り) 190円
ウィック(灯芯1本入り) 280円

イベント・ガイド

「第17回OTLSコンベンション」

六月十九日(木)~二十二日(日)
ラディン・ホテル(ニューオリンズ)
主催/OTLS(オン・ザ・ライター・サイド)
くわしくは、www.otls.com

「ジッポー・アウォーズ・ナゴヤ」

四月十三日(日)
名古屋サミットホテル
主催/有花里
くわしくは、www.zippostation.co.jp

ZIPPO SHOP TOUR

●東京 マルイメン新宿

〒160-0022
東京都新宿区新宿5-16-4
☎03-3354-0101(代表)



AM11:00~PM8:00
定休日/水曜日・不定休



昨年九月のリニューアル・オープンにより、一層充実感を増したアイテム群のなかには、現行品からヴィンテージ物までがそろい、数ある限定品のなかでは「マルイオリジナル限定」がとても好評を得ています。

マルイメン、ならではの男らしさのファッション・アイテムの演出は、壁面をオープン・フェイスにすることによって誰でも気軽に直接手にとって楽しむことができます。カテゴリー別・加工別に陳列していますので、ジッポー・ライターの見やすさ、買いやすさを通じて、ご来店されるお客さまには満足していただけると思います。ぜひご来店ください。

●岐阜 Zippo専門店750

〒500-8285
岐阜県岐阜市南鶉7-50
リブ7-50ビル1F
☎058-273-8491
homepage http://www.zipposhop750.com



AM10:00~PM7:00
定休日/月曜日(祝・祭日の場合は営業)



岐阜では初のジッポー専門店として、二〇〇一年四月にオープンしました。場所は県庁と柳津のカラフルタウンの中間、環状線の西側に位置します。

店はまだ若く、品ぞろえも約一、五〇〇~一、七〇〇個と専門店としてはまだまだ数が不足していると思います。しかし、岐阜は車社会ですので、名車シリーズのジッポーを多数そろえています。現在も品ぞろえには力を入れていますので、市外からもご来店いただいておりますが、まだご来店されたことのない一般ユーザー、コレクターの方はぜひ一度お立ち寄りください。

●千葉 Mobil & ZIPPO 増田石油 金谷SS

〒299-1861
千葉県富津市金谷35-1
☎0439-69-2001
e-mail masuda-gs@nifty.com



AM9:00~PM7:00
定休日/木曜日



千葉県南房総の東京湾フェリー金谷港から車で五分、国道二七号沿いにあるモービル石油のガソリンスタンドです。田舎の小さな店ですが、長年、ガソリンとジッポー(油と炎)を販売しております。スタンドですので、タイヤメーカー・オイル・車(オートバイ)関係のジッポーを多種取りそろえています。都会のお店にはもうないようなジッポーもあるかもしれません……観光ドライブがてらに、ぜひ気軽にお立ち寄りいただきたいと思います。内房線「竹岡」駅(無人駅)下車、徒歩十五分です。ご連絡いただければ、当店ジッポー・カーにて送迎いたします。

Zippo AN AMERICAN CLASSIC
ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE
ジッポー・ホットニュース・スペシャル2003春夏号 Vol.10

© 2003 ZIPPO MANUFACTURING COMPANY
Printed in Japan 禁・無断転載

発行日／2003年3月1日 発行／ジッポー・マニュファクチャリング・カンパニー日本代表部／〒453-0022 名古屋市中村区中島町4-4 発行人／岡本信義 編集／(株)セットコム 制作／協同広告(株)名古屋支社 ☎052-961-6611 協力／伊藤商事(株)／マルカイコーポレーション(株)／伊藤忠ファッションシステム(株)

FROM ZIPPO



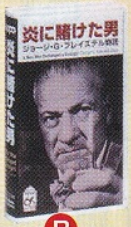
かつての人気喜劇グループ「マルクス・ブラザーズ」をコミカルに描いた、1946年の広告より

PRESENT ライターをお求めのチャンス!

いま、ジッポー・ライターをご購入の方に、ごらんのオリジナル・グッズのうち1点をプレゼント。Ⓐ「ZIPPO HANDBOOK 2001」(B6判変型 オール・カラー／352P／500名)
Ⓑ創業者の生涯を描くビデオ「炎に賭けた男」(48分／300名)

Ⓐ ハンドブック





Ⓑ ビデオ「炎に賭けた男」

★ご希望の方は、ライターに添付されている日本語版保証書のオイル缶イラストページ(写真右参照)をハガキに貼付し、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、および希望商品(A、Bのいずれか)を明記のうえ、下記のジッポー・サービス(名古屋)までお送りください。6月末日消印有効。当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



★ジッポー・ライターにはオイル、フリントなど、ジッポー純正付属品を!

最近、いわゆる「100円ショップ」などの店頭でジッポーに類似したライターに加え、オイル、フリント(発火石)、ウィック(替え芯)なども数多く出まわっています。これらはジッポー製品ではなく、品質の違いによりライター故障をもたらす恐れがあります。もちろん、この他社製品に起因するライター故障は、ジッポー社の修理保証を受けることができません。よりよい結果を生むために、「ジッポー・ライターには、ジッポー社製純正付属品」をご利用ください。



★本誌の定期購読をご希望のみなさまへ

「ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE」の定期購読をご希望の方は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、ジッポー・サービス(名古屋)「HOT NEWS」係までハガキにてお申込みください。初回送付時に専用の郵便振替用紙を同封いたしますので、郵送手数料1,000円(年2回／税込)をお振込ください。

ジッポー・サービスからのお願い

ジッポー社では、ライターの機能的な故障に対して、その状態、使用年数を問わず、これを無料で直します。ただし、当社への郵送にかかる費用はお客さまの負担です。ライター表面のキズ、へこみ、変色、メッキ不良、革のはがれ・破れ、摩耗、飾りメタルの取りつけ、および他社製ライターは修理できません。また交換部品、内部ユニットは新品を使用しますので、ご了承ください。



●修理を依頼するまえに

①着火不良は純正発火石、オイルが入っていないことによるものか、まずご確認ください。
②芯は消耗品、販売店で購入ください。装填方法は簡単で、内部の綿をすべて取りだし、芯を入れ、長さは風防ガード上部くらいに合わせます。残りを内部に詰めながら、バランスよく綿を詰めればOK。なお、綿は市販の布団綿、純綿でも代用できます。

●修理品の送付方法

①綿に残っているオイルは必ず抜き取り、完全に蒸発させます。
②郵送にはライター(化粧箱、飾り付属品、オイル缶、ギフトボックスなどは同封しない)をティッシュなどの緩衝材で包み、封筒を二重、三重にしてください。そのときテープを直接ライターに貼りつけないこと。(送付先／下記記載のジッポー・サービス)
③修理品とともに、必ず日本語併用保証書、故障個所などの連絡メモも同封ください。住所、氏名、電話番号をお忘れなく。記載もれのある場合は返却できない場合もあります。
④郵送以外の方法では受け付けできません(民間便は不可)。
⑤貴重品は簡易書留で郵送ください。

★ライターの正しい使い方

①オイル注入直後は、十分注意。入れすぎの場合は、ティッシュなどで必ず拭き取る。また、火気に注意してください。
②点火使用後、キャップを完全に閉じ、消火を確認する。

くわしい情報を入手するなら

[ホームページ] アメリカ本社版 http://www.zippo.com 日本版 http://www.zippo-japan.com
[ＦＡＸ情報] FAX.03-3436-6090 音声ガイドにしたがい、希望する情報BOX番号を指定する。インデックスは「0000」。
[輸入代理店] ●ライターのお問い合わせ／伊藤商事(株)☎03-3562-5811／マルカイコーポレーション(株)☎06-6443-0072
[ライター修理] 〒450-8691 名古屋中央郵便局名古屋駅前分室私書箱233号・ジッポー・サービス
〒111-8691 東京浅草郵便局私書箱47号・ジッポー・サービス東京のいずれかに送付ください。
●このほか[illegible]

お問い合わせは…
激安 豊富な商品 お電話・メールにて商品をお届け
上野アメ横 美都商事
ホームページ http://www.ameyokomito.com/
アメヨコ ミト ドットコム
TEL:03(3833)5280 営業時間10:30~18:30
FAX:03(3836)9180 定休日：第2・3水曜日
〒110-0005 東京都台東区上野6-10-7 アメ横プラザ4号